

ブックちゃんの

2025 年 6 月 1 日発行

ふじのみや探検

第 46 号 富士宮のお茶のひみつ



発行：富士宮市立中央図書館 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町 13-1 TEL:0544-26-5062 FAX:0544-26-1284



茶つみ機

みなさんは、家で、急須^{きゅうす}やティーポットを使ってお茶を飲むことはありますか？自宅で飲んだことがなくても、学校などでの「お茶の講座」や富士山学習などで、急須を使って飲んだことがあるかもしれませんね。お茶をいれたあとの茶がらを広げてみると葉っぱの形が残っています。

市内では、高原^{たかはら}、杉田、大岩、小泉^{あわくら}、粟倉北部地区などのお茶畑で作られているその葉っぱ、お茶にまつわるひみつをさがっていきましょう。

ひみつ1

富士宮のお茶栽培はどのようにして始まったの？

明治時代が始まるころ、静岡藩の士族（江戸時代の武士）が万野原新田に移り住みました。土地とお茶の種の代金を支給され、刀を鋤に変えて開墾を始めたのです。そこからお茶の栽培が始まりました。なぜお茶を栽培するようになったのでしょうか？

当時は、生糸とお茶が日本の重要な輸出物で、農業に不慣れな元武士にとっては蚕を飼って生糸のもとになる繭玉を作って売ることより、お茶を栽培する方が楽だと思われたからです。しかし、お茶栽培に適した温暖で排水のいい土地でも、荒れ地を開墾しながら、お茶を栽培することは簡単なことではありませんでした。労力と知識と経験が必要ですし、お茶がすみ取れるようになるまで、3年以上も待たなければなりません。1877年ごろは、茶畑はわずかでしたが、苦勞して茶畑は広げられ、他地域でも栽培されるようになっていきました。

ひみつ2

「やぶきた」って何？

お茶の品種名で、富士宮市でも多く栽培されています。その名前は「竹やぶの北側に育つ」ことからきました。1908年、静岡で杉山彦三郎さんが、竹やぶをたがやして茶畑にしました。その中から選んだ1本を北側に、もう1本を南に植えました。実験観察した結果、北側の方が優秀な木だったことからやぶの北側、すなわち「やぶきた」と命名されました。ちなみに、南側の木は、「やぶみなみ」と名づけられました。もし、南側の木が優秀だったら、「やぶみなみ」というお茶が広まっていたことになります。

現在、静岡県立中央図書館近くに杉山彦三郎記念茶畑があり、お茶の原樹も元気に育っています。（原樹は、静岡県の天然記念物です。）

「やぶきた」は、1953年に農林水産省に登録され、全国に普及していきます。2024年では全国茶園の約80%で、静岡県内では約90%で栽培されています。



まめ知識

茶の俳句

「駿河路や花たちばなも茶のにおひ」と松尾芭蕉が、1694年旧暦5月江戸から京へ向かう途中の静岡で詠んだ句です。香り高い橘の花でさえお茶のにおいにはかなわない、という内容です。お茶独特の香りが静岡に広がっていたことがわかります。

ひみつ3

お茶畑の黒いシートは何のためにあるの？

お茶つみをまちかにひかえたお茶畑で見られる黒いシートは、^{かんれいしや}寒冷紗といいます。なぜ、寒冷紗でおおうのかというと、お茶の葉にあたる光をさえぎるためです。こうすることで、うまみやしぶみのすくない甘みのあるおいしいお茶ができあがるのです。また、お茶の葉は光を求めて、葉っぱをぐぐっと広げ、^{ようりよくそ}葉緑素が増えて、茶葉があざやかな緑色になります。そのほかに、朝寒くなる時の霜を^{しも}防ぐこともできます。



ひみつ4

だい^が台刈りって何？



お茶畑は緑色をしています。灰色や茶色っぽくなっている畑を見られることがあります。お茶の^き樹を刈りこんだため、

枝の色や枯葉が見えているからです。決して枯れているわけではありません。刈り込むことを台刈りといいます。なぜ、刈り込むのかというと、大きくなったお茶の樹を刈り込むことで、若返りがはかられ、樹の勢いが良くなって、お茶の味が良くなるからです。ただ、根元まで刈り込むと再収穫には数年要します。また、上の右の写真のように、それまでの樹を全部抜いて、植え替えることもします。

ひみつ5

一番高いねだんはいくらなの？

2017 年、静岡茶市場の初取引で、富士宮産の手もみ「さえみどり」という品種が、1 kg 108 万円と茶市場が開かれて以来のもっとも高い値段がつきました。ただ、この値段は^{しゅうぎそうば}ご祝儀相場といって、この年の新茶の初めての取引なので、お祝いの意味が込められている値段です。このときの平均価格は 1 kg 7000 円程度といわれています。（これまでの最高値は^{りょうごうち}清水区両河内産の「高嶺の花」という品種の 1 kg 8 万 8000 円でした。）

さらに、^{おどろ}驚くことがおこります。2022 年、新茶初取引で JA ふじ伊豆が出荷した富士宮産手もみ新茶「さえみどり」が 1 kg 196 万 8000 円！

新茶は 100 g 単位で売られていることが多いので、この「さえみどり」を 100 g になおすと、19 万 6000 円となります。この新茶は、1 パック（3 g）6376 円で、50 パック限定で販売されました。

静岡茶市場
富士宮産お茶が最高値
JA 富士宮茶業委の
手揉み「さえみどり」
破格の 108 万円（1）で取引

岳南朝日 2017. 4. 25

ひみつ6

「富士宮のお茶 富士山『う宮茶』グランプリ」って何？



富士宮市内の小学生に日本茶のすばらしさや富士宮のお茶の知識を深めてもらうねらいで始められた大会です。2025 年 3 月に第 11 回目を実施しています。参加できるのは市内小学校にかよう小4から小6までの児童30名です。

次の3つに挑戦します。

- ・茶んと解きましょう（お茶の歴史や作り方に関するクイズに挑戦）
- ・茶んと当てましょう（お茶の種類当て）
- ・茶んといれましょう（お茶のいれ方の実技）

「茶レンジャー」として参加してみませんか。

ひみつ7

「静岡茶講座」って何？

静岡県が主催している静岡茶のおいしさや歴史、おいしいお茶のいれ方などを学ぶ講座のことです。2024 年には、富士根南小学校の3年生がこの講座を受けました。実際にいれた後「ふだん飲まないの
でおいしかった。」「苦いけど、^{あとあじ}後味がよかった。」「家に帰って急須で入れて飲みたい。」と感想を述べるなどおいしくお茶を飲むことができました。ちなみに2016年12月、静岡県は、「小中学校の児童生徒の静岡茶の愛飲の促進に関する条例」をつくり、静岡茶を飲むことや静岡茶を学ぶことなどを進めようと努力しています。

まめ知識

「ふじのくに山のお茶100選」

「ふじのくに山のお茶100選」とは、香りや味と外観などに特色を持つ静岡にしかできない個性ある銘茶として銘茶コンテストで認められたお茶のことです。

今までに何回も富士山まる茂茶園が出品した「ごらいこう」というお茶が選ばれています。

これは富士山の富士宮口登山道、新七合目にある御来光山荘で登山者へ^{ふるま}振舞うもてなしのお茶です。富士宮市大岩の山中で育てられた茶葉が使われています。

『第46号・富士宮のお茶のひみつ』は、次の資料を参考にして作りました。

- 1 『^{まんのくし}萬野区誌』 富士宮市万野一・二・三・四区 2001.3
- 2 『JA ふじのみや Vol.57 Vol.58』 富士宮農業協同組合 2020.3 2020.5
- 3 『茶の都しずおか』 静岡県経済産業部茶業農産課 2013.10
- 4 『岳南朝日』 岳南朝日新聞社 2017.4.25 2022.5.7 2022.11.26 2024.10.27
- 5 『静岡県公式ホームページ』 経済産業部農業局お茶振興課 2023.11.2